令和６年１１月５日
報 道 発 表 資 料
川 崎 市 消 防 局

ICT 等のデジタル技術を活用した
救急業務の効率化に関する実証実験を行います！

川崎市では、年々延伸する救急活動時間の短縮及び救急隊員の負担軽減を図ることを目的として、ICT 等のデジタル技術を活用した救急隊と医療機関との情報連携による救急業務の効率化に関する実証実験を１１月１８日から行います。

１　背景

令和５年中の救急出場件数は令和元年と比較すると約１.２万件増加し、救急活動時間は約８分延伸しています。

救急隊の１出場あたりの活動時間を短縮することで、１１９番通報を受けてから直ちに出場可能な救急車を１台でも多く確保するとともに、救急隊員の負担軽減を図るため、ICT 等のデジタル技術を活用した救急隊と医療機関との情報連携による救急業務の効率化に関する実証実験を行います。

２　実証実験の内容

現在、救急隊が搬送先医療機関を選定する際、医療機関に電話し、口頭で傷病者の情報を伝えた上で、受入れの可否を確認しています。本実証実験では、救急隊がタブレット端末に記録した傷病者の情報を医療機関に共有できるシステムを使用し、搬送先医療機関の選定や医師への引継ぎに要する時間を短縮するなど、救急活動の効率化を図ります。

令和６年３月に公募し、採用した事業者のシステムを用いて、以下の地域において、救急現場で実証実験を行います。

活動イメージ

実施地域	北部３区 （宮前区、麻生区、多摩区）	中部２区 （中原区、高津区）
実施期間	令和６年 11 月 18 日～令和７年１月中旬	令和６年 12 月中旬～令和７年２月中旬
救急隊	３署１３隊	２署７隊
参加医療機関	上記３区内の５医療機関	上記２区内の９医療機関（予定）
事業者	TXP Medical 株式会社 （東京都千代田区）	日本電気株式会社　神奈川支社 （横浜市西区）

※　南部２区（幸区、川崎区）の３署１０救急隊については、令和６年９月６日から１１月６日までの２か月間、市内全救急隊（３０隊）で実施している「マイナンバーカードを活用した救急業務に関する実証事業」を１１月６日以降も継続して実施します。

３　今後の予定

本実証実験の結果を踏まえて、ICT 等のデジタル技術の活用による効果や必要な機能を検証し、システム導入の検討を進めます。

＜問合せ先＞
川崎市消防局警防部　平山
電話：０４４－２２３－２６０４